

令和7年度 第2回  
「脱炭素×復興まちづくり  
プラットフォーム」  
総会

於：浪江町地域スポーツセンター秋桜アリーナ

2026年2月17日

# 進行スケジュール

時間	内容	参加
12:00～13:10	受付、名刺交換など	
<b>&lt;第一部&gt; 承認決議等【現地、オンライン】</b>		
13:10～13:20	開会/座長ご挨拶 渡邊 明 様（福島大学 名誉教授）	プラットフォーム参加者
13:20～13:50	承認決議 (1)設置要綱の改訂 折口 直也様（環境省福島再生・未来志向プロジェクト推進室 室長） (2)新規加入者 高橋 大貴様（環境省福島再生・未来志向プロジェクト推進室）	
13:50～14:00	その他報告事項等	
休 憩		
<b>&lt;第二部&gt; 基調講演【現地、オンライン】</b>		
14:10～14:40	基調講演 「浪江から世界へ！コンクリート×テクノロジーが描くイノベーション」 大橋 未来 様（會澤高圧コンクリート株式会社 執行役員 未来開発部）	プラットフォーム参加者 一般参加者
14:40～14:50	質疑応答	
休 憩		
<b>&lt;第三部&gt; WG活動報告・意見交換会【現地、オンライン】</b>		
15:00～15:05	第三部 趣旨説明	プラットフォーム参加者 一般参加者
15:05～17:00	WG活動報告・意見交換会	
17:00～17:10	閉会挨拶 西村 治彦様（環境省福島再生・未来志向プロジェクト推進室 審議官）	

# <第一部>

## 開会/座長ご挨拶

福島大学 名誉教授

# 持続可能な社会の創造

2050年脱炭素社会の実現  
2030年SDGs17項目の実現  
福島への復旧・復興

復興まちづくり

復興・復旧活動の理解  
企業・企業間の理解促進  
新産業知識・技術

民産官学間連携  
業種間連携  
異業種間連携  
Networkの形成

復興・復旧

共生圏づくり

知る

繋がる

情報発信  
機能

Hub機能

英知の  
結集

9つのWG

Supply Chainの形成  
地域文化の維持・形  
成・発展  
住民との協働

科学・技術・情報の共有  
成果の共有  
住民との共有

協働

共有

Matchmaking  
機能

教育・研修機能

脱炭素×復興まちづくりプラットフォーム

# 持続可能な社会創造

エネルギーシステム  
再エネ100%  
分散型電源+スマートグリッド  
バイオマス(熱・水素)  
地熱・地中熱・水力  
脱炭素燃料WG・電源WG

自然環境の再生と農業・  
産業のゼロカーボン  
緑化・里山・耕地の再生  
植林・CO<sub>2</sub>吸収拡大  
地域循環型産業の構築  
燃焼廃棄物ゼロ  
コベネフィットWG・農業WG

循環型社会  
食品残渣ゼロ(バイオガス)  
建材・プラスチックのリサイ  
クル・リユース  
雨水利用・水循環の最適化  
(上下水道)  
廃棄物WG

教育・科  
学・文化の  
充実と発  
展 (F-REI)

復興まちづくり

国内外と  
の繋がり・  
広がり  
観光WG

建築・空間  
ZEB/ZEHの標準化  
(高断熱+太陽光+蓄電池装備)  
緑地・樹木の拡大(CO<sub>2</sub>吸収・ヒート  
アイランド対策)  
コンパクトシティ+多核型構造  
建築WG

モビリティ  
EV-FCVの標準化  
電動バス・オンデマンド交通  
自転車・徒歩中心の街路  
物流の電動化+共同配送  
物流WG

コミュニティ・ガバ  
ナンス  
地域エネルギー会社  
(Stadtwerke)  
住民参加型エネルギー投資  
学校・企業・自治体の共同  
Digital Twinの都市管理  
脱炭素化事業WG

さらに会員の皆様の英知を結集し  
持続可能な社会創造に向けて  
復興まちづくりを実現させよう！

一層のご協力・ご支援を切にお願い  
いたします。



# <第一部>

## 承認決議

※資料は後掲参照

# 承認決議

## (1) 設置要綱の改訂について

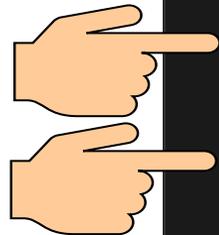
# Slidoについて



第1部用QRコード

- ①QRコードを読み取り
- ②名前を入力しチェックをつける
- ③[Type your question]から  
ご質問を入力してください。

名前  
チェック

A screenshot of the Slido registration page. It features the 'slido' logo at the top, followed by a welcome message for the '第2回脱炭素×復興まちづくりプラットフォーム総会 (第1部)' on Feb 17, 2026. Below this is a 'Full name\*' field with '山田太郎' entered. A checkbox is checked, with the text 'I agree to use my profile details while using Slido. Learn more'. At the bottom is a green 'Join slido' button.A screenshot of the Slido Q&A interface. It shows a header with a hamburger menu, the event title '第2回脱炭素×復興まちづくり...', and a user icon with the letter 'T'. Below the header are two tabs: 'Q&A' (selected) and 'Polls'. At the bottom is a large text input field with a person icon and the placeholder text 'Type your question', with an orange hand icon pointing to it.

# 承認決議

## (2) 新規加入者について

# ＜第一部＞

## その他報告

# 休憩

(第二部：14:10より再開)

**第1部用WebexセミナーURLでは第2部以降をご視聴いただけません。**

お手数ですが、オンライン参加の方は  
第2部・第3部用WebexセミナーURLから**再度入室**をお願いいたします。

# <第二部>

## 基調講演

(會澤高圧コンクリート株式会社 未来開発部)

# ＜第二部 基調講演＞



## 浪江から世界へ！ コンクリート×テクノロジーが描くイノベーション

(會澤高圧コンクリート株式会社 未来開発部)

※資料は後掲参照

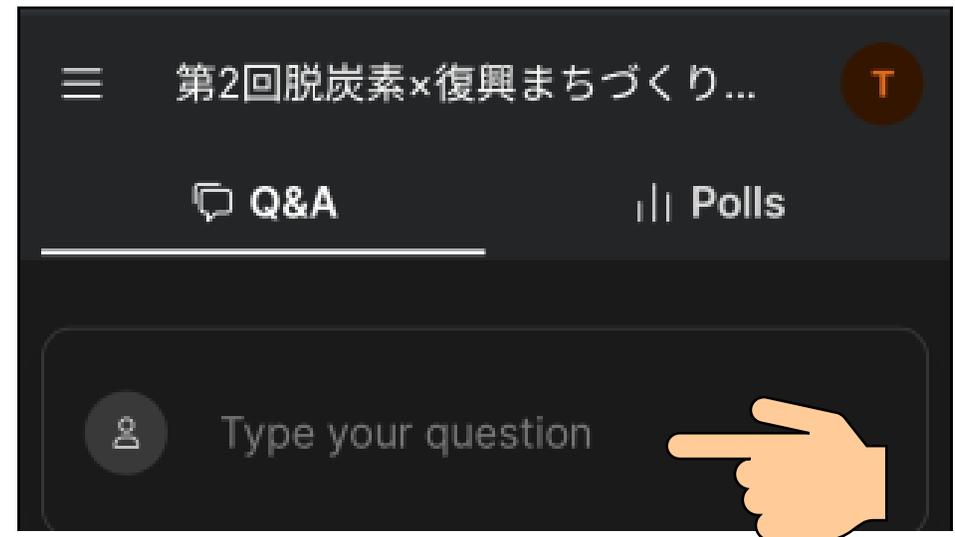
# Slidoについて

- ① 下記、QRコードを読み取り
- ② 名前を入力しチェックをつける
- ③ [Type your question]から  
ご質問を入力してください。



第2部・第3部用QRコード

名前  
チェック

A screenshot of the Slido registration page. The page has a dark background with green text. At the top, it says 'Welcome to' followed by the event name in Japanese: '第2回 福島県脱炭素×復興まちづくりプラットフォーム総会 第2部・第3部' and the date 'Feb 17, 2026'. Below this is a form with a 'Full name \*' field, a checkbox for 'I agree to use my profile details while using Slido. Learn more', and a green 'Join slido' button. At the bottom, there is a 'Back to search' link. Two orange hand icons point to the 'Full name \*' field and the checkbox, with the labels '名前' and 'チェック' respectively.

# 休憩

**(第三部：15:00より再開)**

オンライン参加の方はこのままお待ちください。

# ＜第三部＞

## WG活動報告・意見交換会

※各資料は別途掲載

# ＜第三部＞

## 【趣旨】

- PF活動の集大成としてWG事務局が三年間の活動報告を行い、成果を総括します。
- 「WG参加団体等による脱炭素製品・サービス提案一覧」をPF全体で共有し、令和8年度以降のPF活動に向けた全体の方向性や具体的取組みについて意見交換を行う場とします。



# 閉会挨拶

(環境省福島再生・未来志向プロジェクト推進室 審議官)

# 令和7年度第2回「脱炭素×復興まちづくりプラットフォーム」総会 ご参加者アンケート

以下のQRコードもしくはURLよりご回答ください。ご利用いただけない場合は、事務局までお声がけください。紙のご準備もごさいます。



<URL> <https://forms.office.com/r/nG9sQBKyUJ>

# 懇親会のご案内

会 場： ホテル蓬人館（〒979-1111 福島県双葉郡富岡町小浜44-2）  
時 間： 18:05~19:30

## 【懇親会に参加される方】

17:25発の懇親会会場行のバスをご手配しております。

## 【懇親会にご参加されない方】

17:25発のいわき駅行バスをご手配しております。

**バスの乗り間違いにご注意ください**

# <第一部>

## 承認決議資料



---

# 来年度以降のプラットフォームの運営方針について

---

2026年2月17日

環境省 環境再生グループ  
福島再生・未来志向プロジェクト推進室長



- 1. これまでのプラットフォームの振り返り**
- 2. 次期プラットフォームの運営方針**
- 3. 要綱の改定内容**

- 1. これまでのプラットフォームの振り返り**
2. 次期プラットフォームの運営方針
3. 要綱の改定内容

# 脱炭素×復興まちづくりプラットフォームの背景と目的

プラットフォーム設立時  
説明会資料一部加工



- 東日本大震災・原発事故による福島12市町村では、**脱炭素化の取組を組み込みながら、大きな被害を受けた地域の復興・再生を図るまちづくりの取組を推進**するとともに、地域資源を最大限活用しながら、環境・経済・社会が好循環する特色ある地域循環共生圏を形成することが必要。
- 福島12市町村等において、地域内外の**多くの主体が共通の目標や認識を持った上で、長期にわたり連携していくことを目指し**、「脱炭素×復興まちづくりプラットフォーム」を設置。

## 主な対象エリア



## プラットフォーム本体

浜通り地区の脱炭素と復興まちづくりの実現のための  
情報交換やネットワーク形成

### <情報交換>

- ・各市町村の脱炭素の取組や課題
- ・各事業者の実施可能事業や得意技術
- ・国の施策や制度、技術的助言 など
- ・先進事例の共有

### <ネットワーク形成>

- ・各市町村の課題に対し、担い手となる事業者や支援ツール等をマッチング
- ・必要に応じて、個別WGを立ち上げ、課題解決や事業化に向けて議論を深掘り

## 個別WG

- ・個別テーマについての深掘り
- ・モデル事業の創出に向けた議論

〇〇〇に関するWG

□□□に関するWG

△△△に関するWG

...

# 脱炭素×復興まちづくりプラットフォームにおける活動

- 3年間の活動において、プラットフォームには**230者を超える企業等の参加**をいただいた。
- 各WGにおいて検討が進められ、**今回の総会の機会を捉え、観光WGで実際に取組を展開**するなどの一定の進展も。
- 他方、WG事務局との意見交換等でも、3年間の取組を通じて課題も明らかになっている。

## 今後の発展に向けた論点（WG事務局意見を含む）

課題	内容
①事業ニーズ把握の非効率性	事業検討の初期段階における <b>地域における事業ニーズの把握</b> 、調整、事業性検討等に時間・費用が伴うところ、プラットフォーム参加者の負担が大きい。
②支援措置との関係性	補助事業や政策スキームとの関連性が不明確
③検討の出口が不明確	WG後の支援スキームなどが無いため、WG内の検討の出口があいまい。 また、プラットフォームにおける活動の軸がWGに限定されており、参加企業の温度感・課題感も様々であるため、 <b>WG単位では事業化に向けた意思決定等が困難。</b>

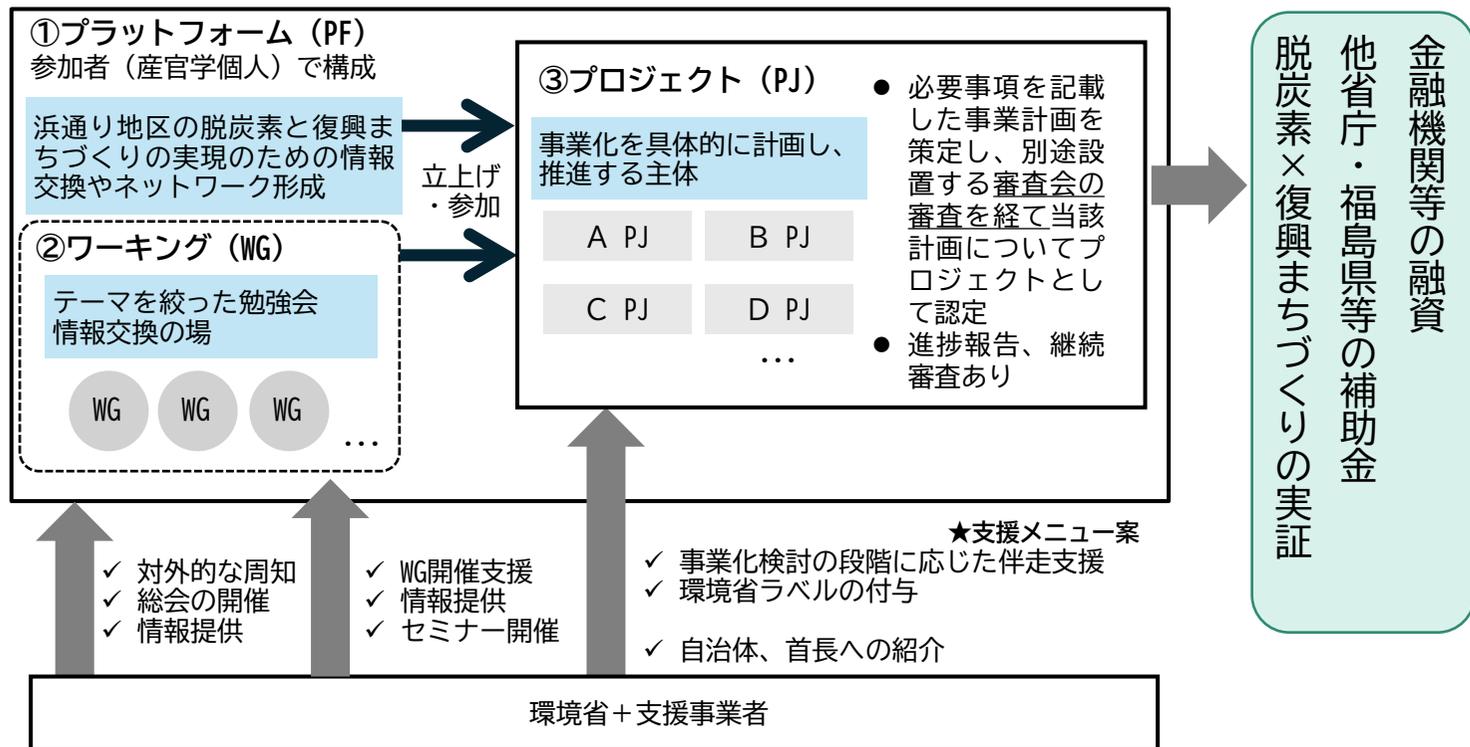


これらを改善し、次期プラットフォームでは積極的な企業の取組を強力に後押し

1. これまでのプラットフォームの振り返り
- 2. 次期プラットフォームの運営方針**
3. 要綱の改定内容

# 次期プラットフォームの運営方針

- 引き続き福島12市町村等をフィールドとした活動を展開。
- 今後は、地域と共生・裨益する具体的な取組の事業化に向け、環境省の関与を強化（R8も用途を拡充した予算案を要求）するとともに、連携の輪を広げていく。
- プラットフォーム内で意欲ある事業者が行う地域に効果的な取組を重点的に支援することを明確化。既存のWGの枠に加えて、プロジェクトレベルでの認定を新設し、認定プロジェクトに対する個別支援メニューを用意し出口を明確化。
- さらに次年度以降に向けては、意欲ある事業者とも意見交換しながら、必要な支援措置等についても継続的に見直し。



次期プラットフォームの運営イメージ

# 参考) 令和8年度予算案 (12月時点)

## 「脱炭素×復興まちづくり」推進加速化事業



【令和8年度予算(案) 500百万円(新規)】 環境省

福島での「脱炭素社会」と「復興まちづくり」の同時実現を通して着実な復興を支援します。

### 1. 事業目的

震災や原子力災害により大きな影響を受けた福島県内の市町村では、ゼロカーボンシティ宣言を積極的に行うなど、環境に配慮したまちづくりへの取組が進められている。一方、住民の帰還や産業の再建が道半ばであり、今後、脱炭素社会を進めつつ、復興まちづくりの実現を目指すことは容易ではない。このため、2050年カーボンニュートラルの実現、「脱炭素」に関連した新しいまちづくりに向け、事業の創出や、地方公共団体、民間事業者等が実施する設備導入等に対する支援を行う。

### 2. 事業内容

#### (1) 「脱炭素×復興まちづくり」に資する計画策定、導入等補助

福島県が策定した「再生可能エネルギー推進ビジョン」や自治体等が宣言する「ゼロカーボンシティ」で示された方針に沿って、当該市町村が2040年又は2050年を見据えた再生可能エネルギーの利用促進に関する目標と具体的取組を定めた構想等の策定(又は策定予定)を要件とし、地方公共団体や民間事業者等が行う「計画策定」または「自立・分散型エネルギーシステム」に対し補助する。

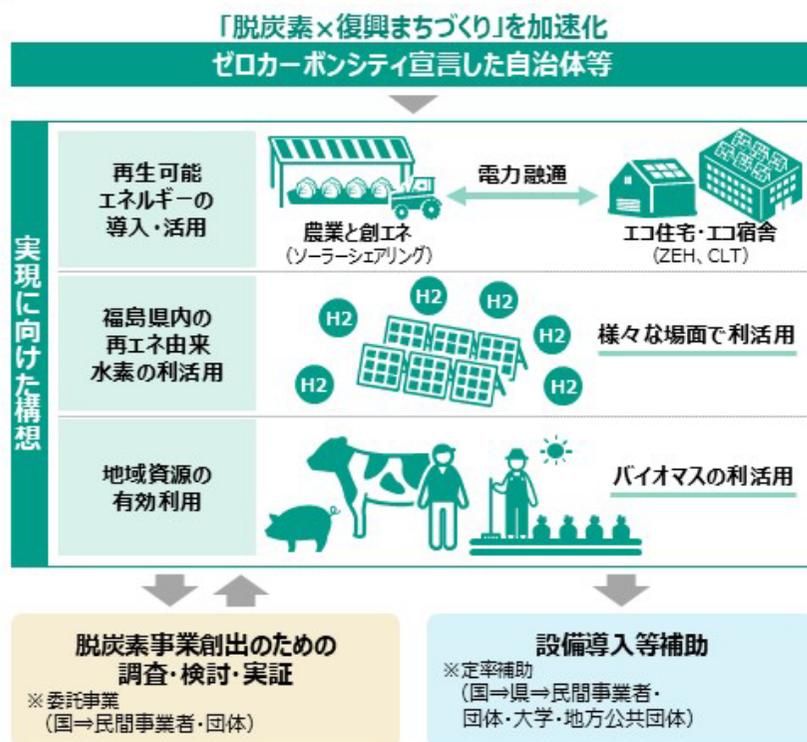
#### (2) 「脱炭素×復興まちづくり」に資する調査・検討・実証

地方公共団体や民間事業者等によるモデル性のある事業創出に向け、避難指示解除や復興まちづくりの進捗状況に合わせて被災地の地域資源や地域特性等を最大限活用した脱炭素化の取組に資する調査・検討を行う。また、それら調査・検討結果を踏まえ、地域課題解決に資する脱炭素関連技術等の実証事業を支援し、地域に根差した脱炭素事業の創出を図る。

### 3. 事業スキーム

- 事業形態： (1) 間接補助事業 ①計画策定 (2/3 上限1,000万円) ②設備導入 (1/4~5/6 上限2億円)  
(2) 委託事業
- 補助対象： (1) 福島県 (民間事業者・団体・大学・地方公共団体への間接補助)  
(2) 民間事業者・団体
- 委託先： (1) 福島県 (民間事業者・団体・大学・地方公共団体への間接補助)  
(2) 民間事業者・団体
- 実施期間： 令和8年度～令和12年度

### 4. 事業イメージ



お問合せ先： 環境省 環境再生・資源循環局 福島再生・未来志向プロジェクト推進室 電話03-3581-2788

1. これまでのプラットフォームの振り返り
2. 次期プラットフォームの運営方針
3. **要綱の改定内容**

- これまで述べた方針の下、主に以下の点について要綱を改訂。

## ①プラットフォームの設置主体の変更（第1条）

現行では、地方公共団体、企業等と共同して設置する、としていたが、環境省が支援等の実施を含め、積極的かつ主体的に管理運営することとする。

## ②参画の円滑化（第4条）

後述のプロジェクトの創設等、意欲ある事業者による積極的な参画及び取組を促す観点から、参画に係るプロセスを簡素化し、事務局の承認をもって参画を認めることとする。

## ③プロジェクト認定制度の創設（第9条）

プロジェクト認定は、意欲ある事業者の取組を奨励するために申請方式とする。  
プロジェクトには、プラットフォーム外の事業者等が関与する事例も申請可能とする。  
認定に当たっては外部有識者も含めた審査会で、公平性を担保することとする。  
認定されたプロジェクトについては、必要な状況確認を行うこととする。

## ④認定プロジェクトに対する支援（第10条）

認定プロジェクトの事業化に向けて、環境省はプロジェクト実施者の求めに応じ、予算の範囲内で必要な支援を行うこととする。



# プラットフォーム加入状況について

- 2月17日時点の加入者は238者になります。

産業界	
1	(株)IHI
2	會澤高圧コンクリート(株)
3	(株)会津ラボ
4	(株)アサノ大成基礎エンジニアリング
5	アジア航測(株)
6	(株)アトラックラボ
7	アポログループ(株)
8	飯館バイオパートナーズ(株)
9	いすゞ自動車(株)
10	イオン東北(株)
11	石川恒産(株)
12	出光興産(株)
13	(株)ウッドコア
14	(株)ACDC
15	Ecoいち
16	(一社)えこえね南相馬研究機構
17	(株)えこでん
18	(株)エコロミ
19	(株)エックス都市研究所
20	(株)エナジア
21	NTCインターナショナル(株)
22	LEシステム(株)
23	応用地質(株)
24	(株)大川印刷
25	OKUMA DRONE(株)

産業界	
26	(株)大林組
27	大林道路(株)
28	(株)大和田測量設計
29	(株)奥村組
30	(合)オトナリ
31	(株)学研ホールディングス
32	葛尾創生電力(株)
33	カナデビア(株)
34	共栄(株)
35	京セラ(株)
36	協和木材(株)
37	(株)クボタ
38	(株)熊谷組
39	KDDI総研
40	株式会社GENX
41	(株)GENXリサイクル
42	(株)建設新聞社
43	(一社)高純度バイオディーゼル燃料事業者連合会
44	郡山観光運輸(株)
45	郡山観光交通(株)
46	コスモ石油マーケティング(株)
47	コニカミノルタジャパン(株)
48	(株)コムテック地域工学研究所
49	佐川急便(株)
50	(株)三和製作所

産業界	
51	JR東日本エネルギー開発(株)
52	(株)JTB
53	(株)ジオパワーシステム
54	自然電力(株)
55	(株)島津製作所
56	新協地水(株)
57	(株)神鋼環境ソリューション
58	新日本電工(株)
59	(株)新福島産業創生プロデュース
60	(一社)水素ドローン産業化推進協議会
61	須賀川瓦斯(株)
62	SPACECOOL(株)
63	(株)スマートアグリ・リレーションズ
64	スマートソーラー(株)
65	住鋳エナジーマテリアル(株)
66	住友ゴム工業(株)
67	住友商事(株)
68	(株)ZMP
69	(株)先端力学シミュレーション研究所
70	全日本空輸(株)
71	(株)相双スマートエコカンパニー
72	大成建設(株)
73	大東建託(株)
74	太平洋セメント(株)
75	大和ハウス工業(株)

※掲載順は五十音順となっておりますので、ご了承ください。  
 ※青字は、令和7年10月2日の総会以降に本プラットフォームへご加入された方々です。

# プラットフォーム加入状況について

- 2月17日時点の加入者は238者になります。

産業界	
76	(株)高萩重機
77	(株)伊達重機
78	(株)ちーの
79	中間貯蔵・環境安全事業(株)
80	(株)テレビユー福島
81	デロイトトーマツコンサルティング(合)
82	(株)電通総研
83	東京産業(株)
84	東京電力ホールディングス(株)
85	東芝エネルギーシステムズ(株)
86	東武トップツアーズ(株)
87	東北交易(株)
88	東北電力ソーラーeチャージ(株)
89	東洋ライス(株)
90	DOWAエコシステム(株)
91	トヨタ車体(株)
92	(株)ドローン技術研究所
93	にいがた雪室ブランド事業協同組合
94	西尾レントオール(株)
95	西松建設(株)
96	ニチハ(株)
97	日揮(株)
98	日鉄エンジニアリング(株)
99	日本ガイシ(株)
100	日本道路(株)

産業界	
101	(公社)日本道路交通情報センター
102	(一社)日本木質バイオマスエネルギー協会
103	日本エヌ・ユー・エス(株)
104	日本環境防災(株)
105	日本工営エナジーソリューションズ
106	日本工営(株) エネルギー事業統括本部
107	日本地下水開発(株)
108	(一財)日本品質保証機構
109	(一財)日本みち研究所
110	日本モビリティ(株)
111	(株)ネクシィーズ
112	NextDrive(株)
113	根本通商(株)
114	(合)Noah 's ark
115	NPOバーチャルライツ
116	(株)バイオーム
117	(株)バイオマスレジン福島
118	パシフィックコンサルタンツ(株)
119	(株)浜田
120	(株)日立製作所 東北支社
121	ひろのプログレス(合)
122	福島エコクリート(株)
123	(一社)福島県発明協会
124	福島交通(株)
125	福島交通観光(株)

産業界	
126	福島テレビ(株)
127	NPO福島まちづくり戦略会議
128	(株)福島民報社
129	福島民友新聞(株)
130	(株)福良梱包
131	富士コンピュータ(株)
132	富士通Japan(株)
133	(株)ふたば
134	フタバ産業(株)
135	(株)双葉不動産
136	プリマックス(株)
137	フレスコ(株)
138	前田建設工業(株)
139	(株)孫の手
140	三菱ケミカル(株)
141	三菱重工業(株)
142	(株)南東北クボタ
143	(株)ミライト・ワン
144	モバイルソリューション(株)
145	八島運送(株)
146	ヤマト運輸(株)
147	UNIVERGY(株)
148	(株)ヨークベニマル
149	横河レンタ・リース(株)
150	ヨシモトポール(株)

※掲載順は五十音順となっておりますので、ご了承ください。

※青字は、令和7年10月2日の総会以降に本プラットフォームへご加入された方々です。

# プラットフォーム加入状況について

- 2月17日時点の加入者は238者になります。

産業界	
151	(株)ライクス
152	楽天グループ(株)
153	(株)リクルート
154	(株)リコー
155	(株)リジェンワークス
156	(株)リビングロボット
157	(合)良品店
158	(株)レゾナック
159	六洋電気(株)
160	(株)ロボデックス

教育・研究機関	
161	(国研)国立環境研究所
162	(国研)産業技術総合研究所
163	(国研)農業・食品技術総合研究機構 農業環境研究部門
164	福島学院大学
165	福島工業高等専門学校
166	(国大)福島大学

行政・関係機関	
167	田村市
168	南相馬市
169	広野町
170	檜葉町
171	富岡町
172	大熊町
173	双葉町
174	浪江町
175	飯舘村
176	福島県
177	経済産業省
178	資源エネルギー庁
179	復興庁
180	農林水産省
181	国土交通省 気象庁
182	福島相双復興官民合同チーム(官民合同チーム)
183	福島イノベーション・コースト構想推進機構
184	まちづくりなみえ
185	ふたばプロジェクト
186	おおくままちづくり公社
187	とみおかプラス
188	ならはみらい
189	広野町振興公社

※掲載順は五十音順となっておりますので、ご了承ください。  
 ※青字は、令和7年10月2日の総会以降に本プラットフォームへご加入された方々です。  
 ※市町村は市町村コード順に掲載しております。

# プラットフォーム加入状況について

- 2月17日時点の加入者は238者になります。

金融	
190	あいおいニッセイ同和損害保険(株)
191	あぶくま信用金庫
192	(株)七十七銀行
193	(株)東邦銀行
194	野村証券(株) 福島支店

個人	
195	飯塚修(スターバックスコヒーージャパン(株))
196	井出 茂(小松屋旅館)
197	江頭 信一郎(環境管理センター)
198	大内政雄(大内法務行政書士事務所)
199	大川 泰一郎(東京農工大学)
200	大場 真(東北工業大学)
201	岡野 悠太郎(東北大学博士後期課程)
202	小沢 晴司(宮城大学)
203	小野寺 恭子(インアウトバウンド仙台・松島)
204	河村 和徳(拓殖大学)
205	國武 悠人(NEKIアドバイザー)
206	木場 和義(地球温暖化防止全国ネット)
207	小林 正明((一財)環境イノベーション情報機構)
208	齋藤 拓也(弁理士・正林国際特許商標事務所)
209	城土 裕((公社)日本技術士会)
210	大楽 聡詞(フリーアナウンサー)
211	高野 翔太((株)バイウィル)
212	高橋 賢一(IHI)
213	田川 寛之(福島学院大学)
214	竹谷 帆野波(三井住友信託銀行)
215	千葉 敏雄(医師・順天堂大学)
216	千葉 深香
217	津村 紀之(三井住友信託銀行)
218	土肥 良一(芙蓉総合リース)
219	永井 祐二(早稲田大学)

個人	
220	中野 和典(日本大学)
221	中橋 篤(姫宮VIGサービス合同会社)
222	花田 真一(弘前大学)
223	平山 賢太郎(筑波大学)
224	廣木 雅史(京都大学)
225	増野 晶子(富士通)
226	真次 成昌(ノーリツ)
227	万福 裕造(農研機構)
228	三原 雄一(富士通)
229	宮澤 大喜(JapanCor)
230	宮藤 久士(京都府立大学)
231	村谷 正之(沖電気工業)
232	森 禎行(ヤフー)
233	森本 英香(早稲田大学)
234	柳川 玄永(三菱総合研究所)
235	山田 桂一郎(JTIC.SWISS)
236	米山 昌幸(獨協大学)
237	渡邊 明
238	亘 秀明(ノーリツ)

※掲載順は五十音順となっておりますので、ご了承ください。

※青字は、令和7年10月2日の総会以降に本プラットフォームへご加入された方々です。

# <第二部 基調講演>



浪江から世界へ！  
コンクリート×テクノロジーが描くイノベーション

(會澤高圧コンクリート株式会社 未来開発部)

# 浪江から世界へ！ コンクリート×テクノロジーによる イノベーション

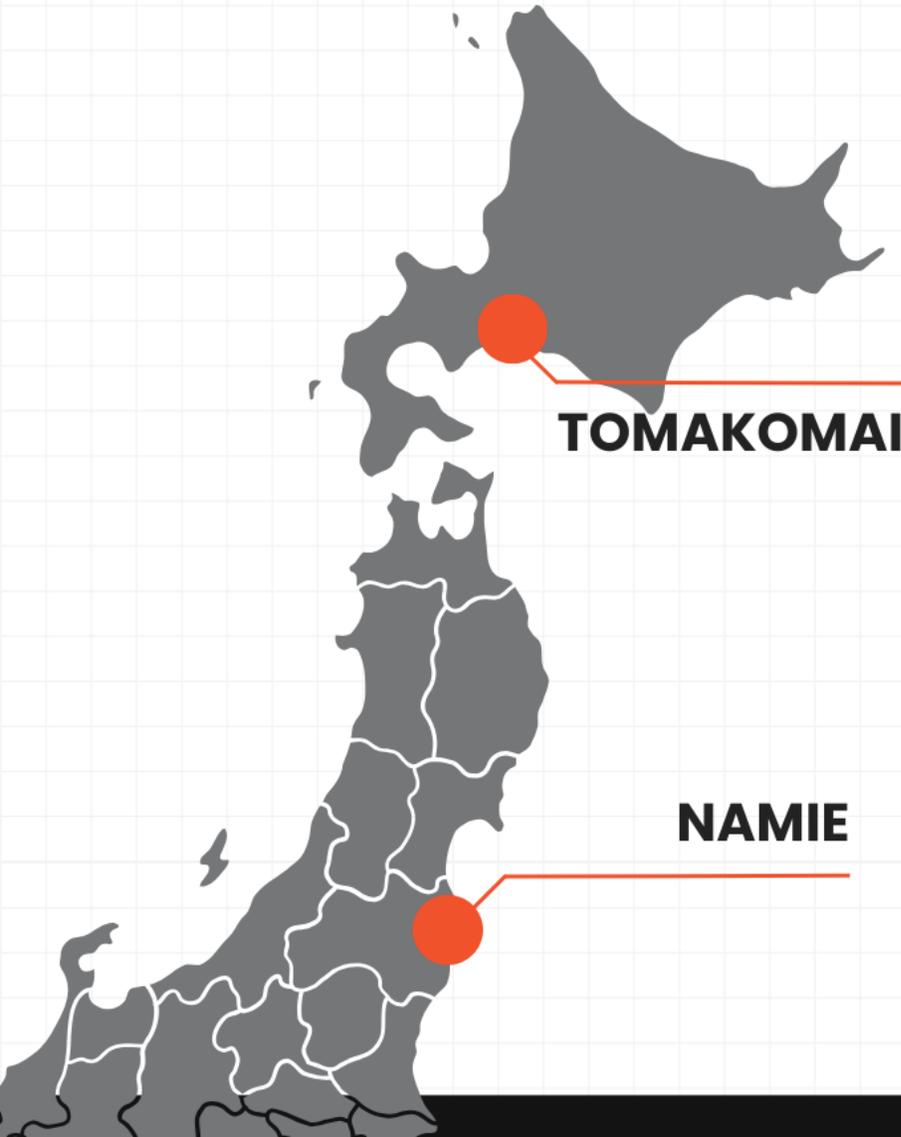
會澤高圧コンクリート株式会社  
未来開発本部

2026/02/17

令和7年度 第2回

脱炭素×復興まちづくりプラットフォーム

# 会社概要



創業年 1935年

本社所在地 北海道苫小牧市

社員数 620名 (2025年11月現在)

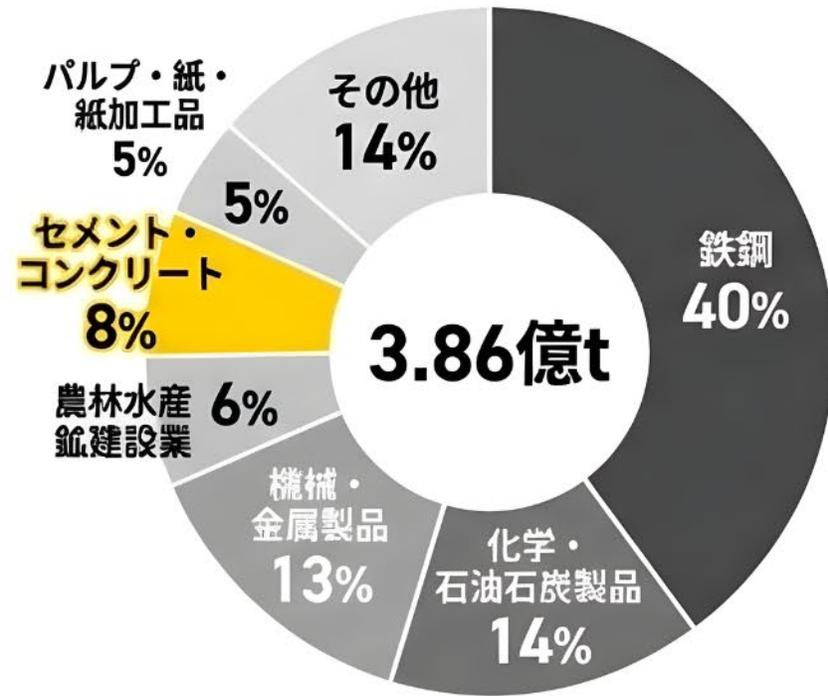
福島RDM<sup>2</sup>センター 2023年6月

国の補助金制度「自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金」  
によって、総工費30億円のうち最大3分の2の助成を受け建設

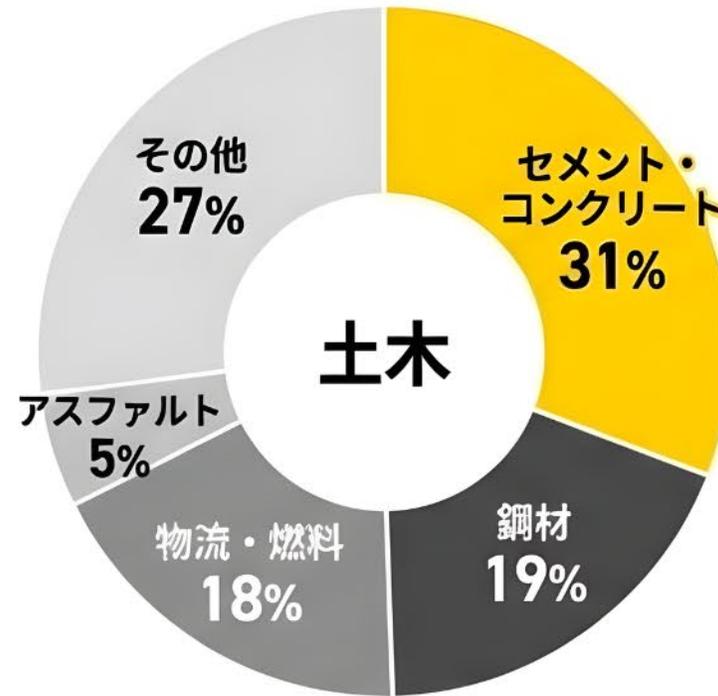
**「コンクリート×テクノロジー」の掛け算によって、  
新たな価値の創出に挑む総合コンクリートメーカー**

# セメント・コンクリート産業における CO2排出量

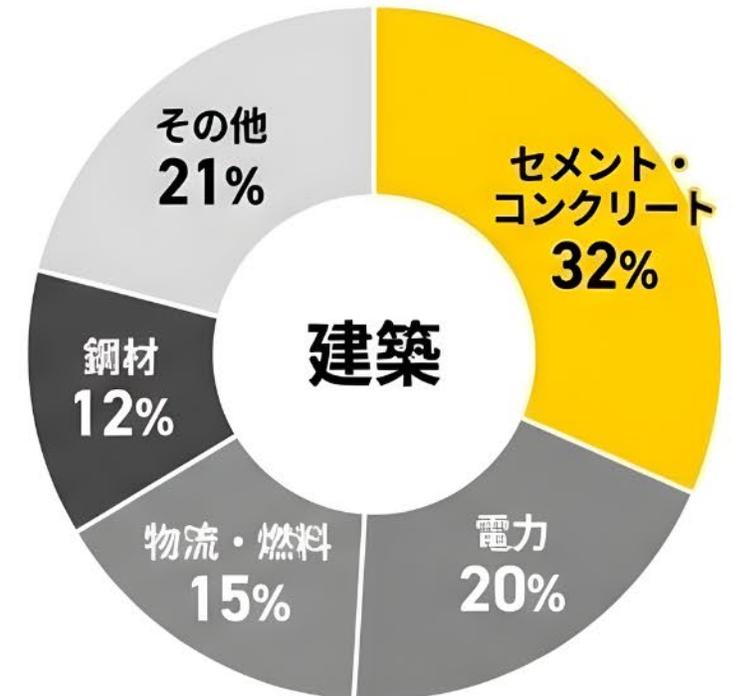
① 日本の産業別CO<sub>2</sub>排出量



② 土木分野の排出内訳



③ 建築分野の排出内訳



一部出典:環境省 2022年度(令和4年度)温室効果ガス排出・吸収量について

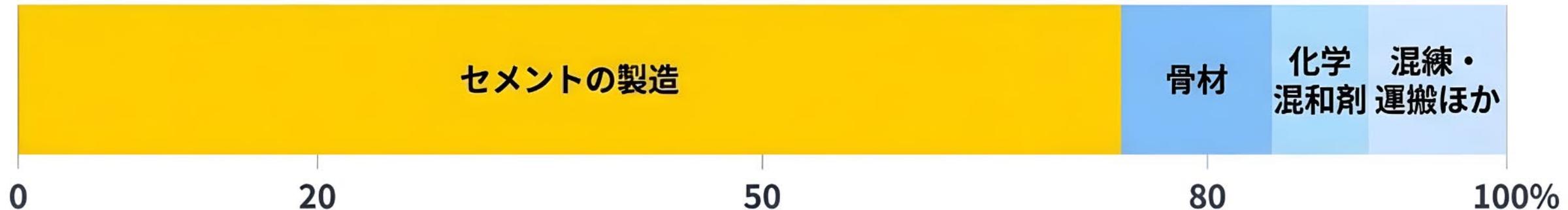
# コンクリート体積と製造時 CO2排出量の比較

## コンクリートの構成（体積割合）



260~300 kg/m<sup>3</sup>

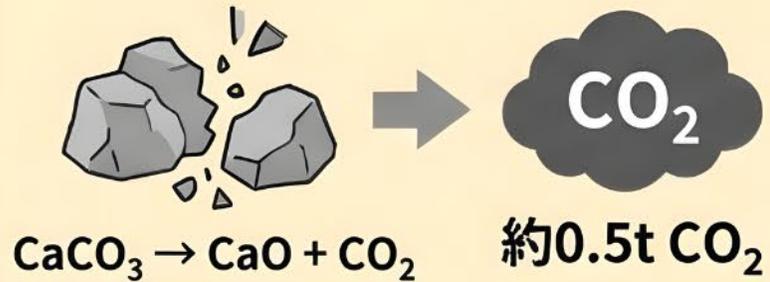
## コンクリート製造時のCO<sub>2</sub>排出



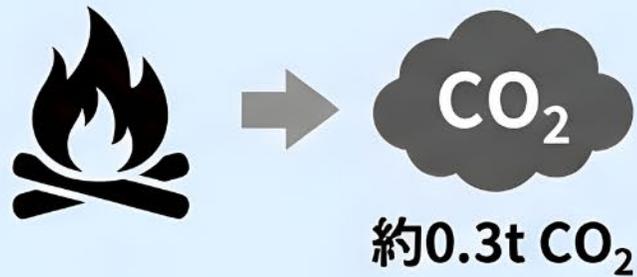
# セメント製造における CO2排出のメカニズム



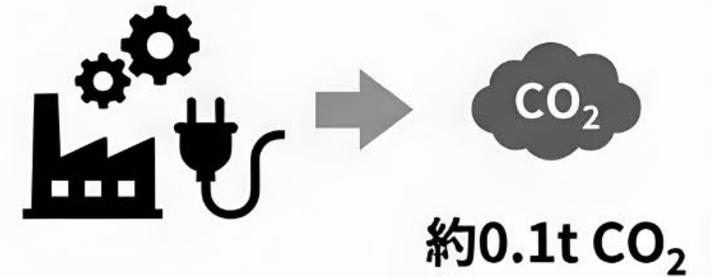
## 石灰石の分解によるCO<sub>2</sub>



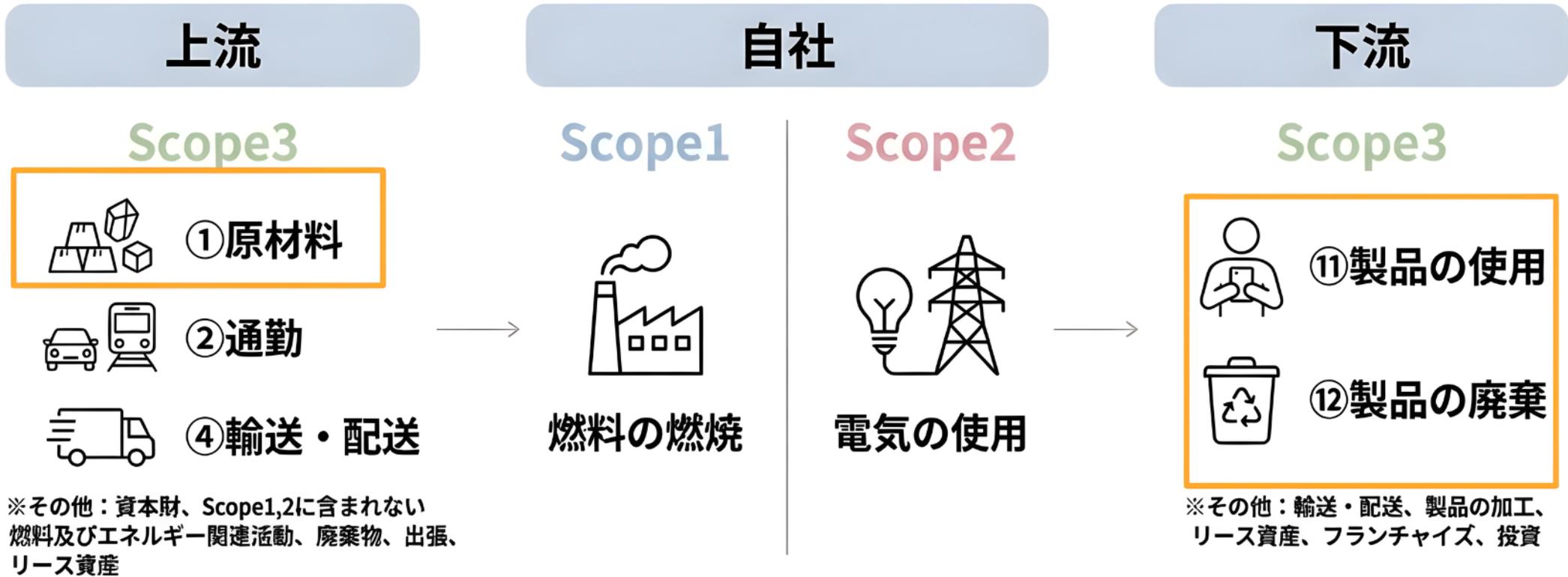
## 焼成時の燃焼によるCO<sub>2</sub>



## その他 (設備・電力等)



**1tのセメント製造 → 約0.8tのCO<sub>2</sub>排出**



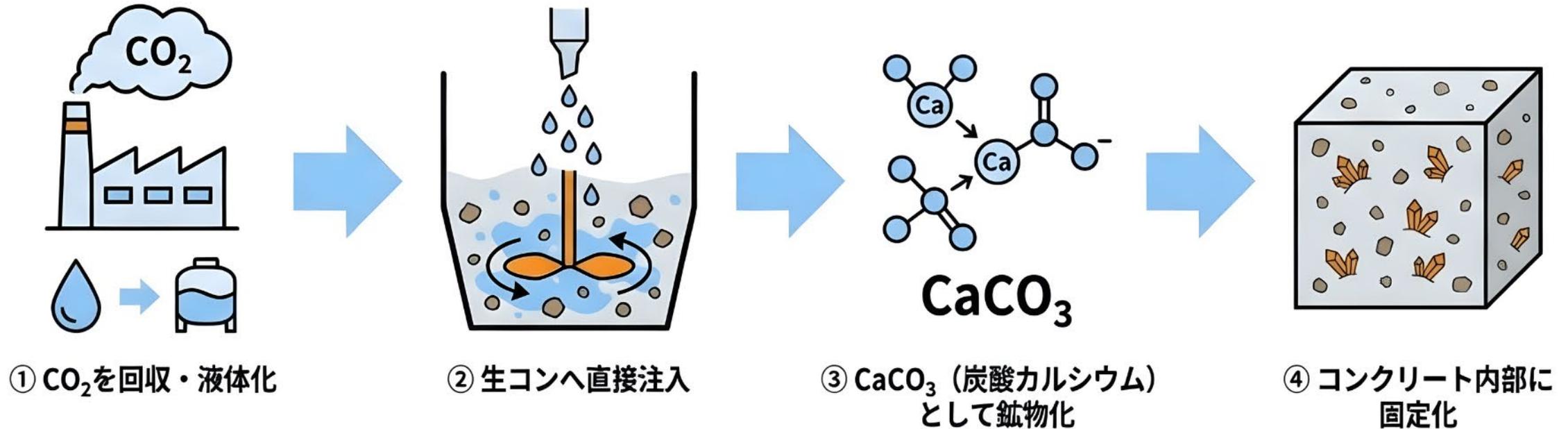
**Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス）**

**Scope2：他社から供給された電気、熱、蒸気の使用に伴う間接排出**

**Scope3：Scope1、Scope2以外の間接排出（事業者の活動に関連する他社の排出）**

# CO<sub>2</sub>固定化技術 CarbonCure

コンクリートに液化CO<sub>2</sub>を直接注入し、鉱物化反応によって半永久的に固定する技術



✓ CO<sub>2</sub>を直接固定

最大約 **23kg-CO<sub>2</sub> / m<sup>3</sup>** 削減

(※配合条件により変動)

✓ 強度向上によりセメント  
使用量を最大6%削減

圧縮強度 最大7%向上 (試験値)

# CO2固定化技術 CarbonCure

提供：CarbonCure Technologies Inc.

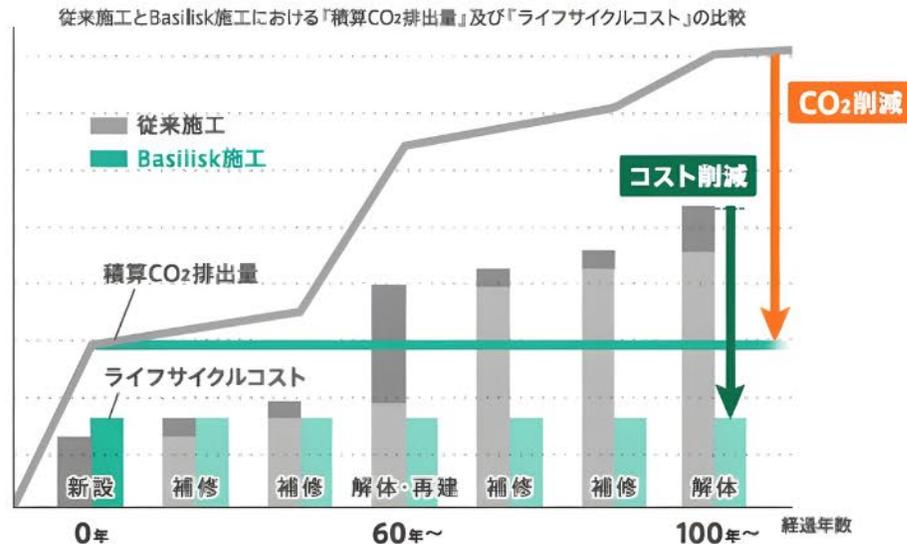
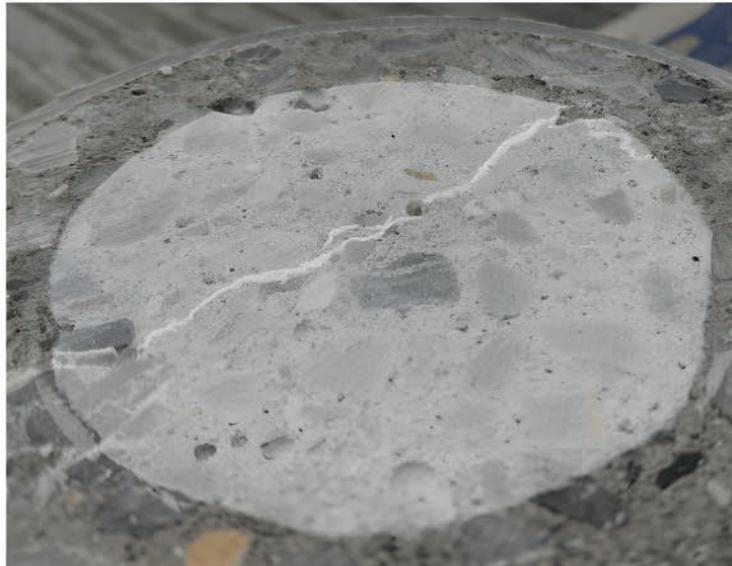
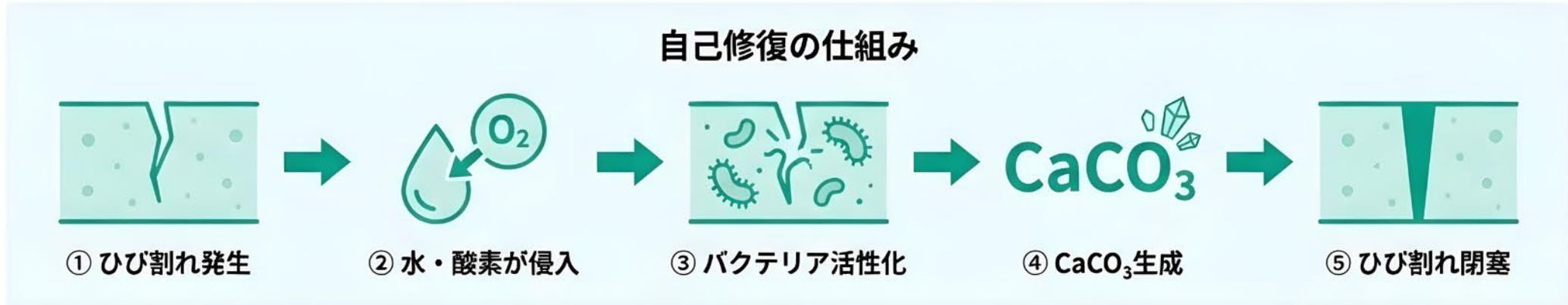


CarbonCureは、環境負荷を低減  
具体的なソリューションを提供しま

※本動画の公開期限はありませんが、  
事前の予告なく非公開となる  
場合があります。

# 自己治癒コンクリート Basilisk

特殊細菌がひび割れ内部で活動し、炭酸カルシウム (CaCO<sub>3</sub>) を生成して自己修復するコンクリート



約35%  
CO<sub>2</sub>削減

(供用年数を65年→100年とすることで)

## 自己治癒コンクリート Basilisk

細菌の行動

水 水 酸素 水 酸素 水

pH 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

活性化した細菌はコンクリート内の「ポリ乳

zzz

※本動画の公開期限はありませんが、事前の予告なく非公開となる場合があります。

# 自己治癒コンクリート Basilisk

水と酸素の存在下で細菌が活動するため、水環境下の構造物に適している



✓ 農業用水路



✓ 橋梁



✓ 港湾構造物



✓ 海岸構造物



✓ トンネル

NETIS VE評価取得  
HK-220003-VE



全国約**500**現場で採用  
(北海道～沖縄)



# 福島RDM<sup>2</sup>センターについて

南産業団地内：浪江町大字請戸字北迫1-3  
浪江ICから10分

▽コンクリート製品工場

RESEARCH（研究）  
DEVELOPMENT（開発）  
MANUFACTURING（製造）  
MARKETING（市場展開）

△研究開発拠点

福島RDM<sup>2</sup>センターについて

テックイベント  
『結』

9月28日(土)  
開催予定！

※本動画の公開期限はありませんが、  
事前の予告なく非公開となる  
場合があります。

# 本日のまとめ

## ① 業界背景

CO<sub>2</sub>排出の構造  
建設分野とセメント



コンクリートはスコープ3上流に位置する、避けて通れない素材。

## ② 製造段階

排出量を減らす  
CarbonCure



CO<sub>2</sub>を鉱物化し、固定化とセメント削減を同時に実現。

## ③ 使用段階

寿命を延ばす  
Basilisk



補修回数を減らすことが、最大の脱炭素につながる。

## ④ 実装拠点

社会実装  
福島RDM<sup>2</sup>センター



研究から製造・発信までを一体化した実装拠点。